

令和6年5月22日（水）

発行：大阪市立阪南中学校長 中西 洋

## 修学旅行（よい旅をみんなで創る）



5月14日（火）、これ以上ない最高の晴天の中、郡上八幡に近い長良川の畔でラフティングにチャレンジ、これが3年生たちの修学旅行の始まりでした。前日の大雨の影響でこの体験の中止が心配されていましたが、インストラクターの方々曰く、「安全に最高のラフティングを提供できました。」その言葉通り、当日の長良川には阪南中学生たちの歓声が響き渡っていました。その後、乗鞍高原へ移動、クラスごとの宿に宿泊しました。

5月15日（水）、残雪が多く残る乗鞍岳の麓、乗鞍高原での体験活動に取り組みました。山々での活動経験豊かなガイドさんたちの案内でトレッキングに挑戦し、白樺等の木々の中を散策し、各コースに設けられた絶景ポイントに感動し、生徒たちは、ガイドさんたちの人柄にも触れ、とても貴重な体験ができたそうです。乗鞍高原では、その他にも、マウンテンバイクやマレットゴルフ、ジャムづくり等にも分かれ、体験活動をして過ごしました。その後、高山市内へ移動、ホテルでの宿泊会場に入りました。

実は、この修学旅行を進める中で、3年生から集められた20名あまりの有志が、修学旅行実行委員として先生方と一緒にあって、この修学旅行の企画段階から大きな役割を果たしてくれていました。校内に修学旅行の成功を呼びかける大きな壁画を作成してくれたのも彼らでした。そして、この2日目の夜にホテルの大広間の舞台を使い、この修学旅行の一大イベントを主催・運営してくれたのもこの修学旅行実行委員会の生徒たちでした。私もこれまで様々な修学旅行イベントを見てきましたが、最高のものでした。当然生徒たち全員大盛り上がり、まさに記憶に残る修学旅行のイベントにしてくれました。阪南中学校3年生を代表する有志が集まった修学旅行実行委員の皆さんの力（企画力・実行力・演技力？）には驚かされました。あらためて実行委員の皆さんに感謝します。ありがとう！

最終日5月16日（木）、班ごとに歴史ある高山市内の古い街並みを巡る体験活動に取り組みました。予報では雨。でも生徒たちが班ごとに、ホテルから街に繰り出すころには晴れ間も、生徒たちは思い思いに街歩きを楽しんでいました。

→裏面に続く

学校を離れ、日常では触れることのない自然豊かな場所や歴史ある街での様々な体験を、生徒たちが先生方と一緒にあって、貴重な学びの機会として、この修学旅行を“よい旅”、にしてくれました。生徒たちは、唯一で最も大きな学校行事、3日間の修学旅行を、楽しく価値あるものにし、無事に終えることができました。

## 一泊移住（「仲間づくり」「協力する」「時間を守る」）

学年生徒代表によって、上記を目標に掲げた中学校初の宿泊行事でした。行き先は阪南中恒例の『大阪府立少年自然の家（貝塚市）』。大自然の中で、生徒・教員合わせ約300名が二日間の共同生活を行いました。

一日目、到着後まずは登山。班長の指示により、体力差を調整しながら、10のチェックポイントに立ち寄り、各教員からの出題難問を解き、下山しました。夜の室内レクリエーションでは、クラス対抗の3人4脚、長縄跳び、○×クイズを行いました。学校ホームページでも様子をアップしましたように、クラス全員が力を合わせ、大興奮の取組となりました。競技者へ熱く応援する皆の姿がとても印象的でした。

二日目、班ごとにカレー作りに挑みました。包丁捌きの上手い人、順序立ての良い人、火起こし加減が絶妙な人、炊事場を小まめに清掃してくれる人など、生徒各々の経験と直感が見え隠れする活動となりました。喫食に辿り着くまでに、班によっては30分から60分近く時間差ができましたが、何とか全員が力作の極上カレーをいただき、一泊移住を締めくくることがとなりました。

中学校生活はスタートしたばかりです。帰校式で西村先生から話があったように、今後の一人ひとりの成長は、日常の積み重ねが大切であることはいうまでもありません。これからも日々の学習や行事・取組も同様に勤しめる集団づくりを目指します。

（文：佐藤教頭）

## 保護者の皆様へ（校外行事を終えて）

本年度も、修学旅行等の校外行事を無事に終えることができました。今週21日（火）には2年生の校外学習も天候にも恵まれ、無事に終えることができました。

新型コロナの扱いが変わったとはいえ、お子様の健康等について様々ご理解・ご協力をお願いしなければならない状況の中での取り組み（校外行事）であることを、行事に先立って開きました説明会でお話しとお願いをさせていただきました。

そして、このような状況の中で、修学旅行や一泊移住等の校外行事を終えることができました。これも日頃より、各ご家庭で、お子様の健康について充分備え、学校と連携していただきましたお陰であると考えています。ほんとうにありがとうございました。これからも、引き続き、本校教育活動へのご協力・ご協力をお願い申し上げます。